

Q3

取手の材質として、亜鉛合金、真鍮、ステンレス、アルミ合金、プラスチックなど数種類が見られますが、その意味と使い分け方などについて教えてください。

A3

取手の材質は、製造面や使用面・コスト面などからその目的に合ったものが選ばれています。

製造面について例えれば、流線形や装飾的なデザインのような自由な形状の取手には、ダイカスト鋳造の材料である亜鉛合金や鋳物材料の真鍮などが選ばれ、シンプルで単純な形状の取手の場合ではアルミ合金の押出し材や板を曲げたり切ったりといった方法と材料が選ばれます。

また、使用面では、例えば耐蝕性を重視したい場所に使う取手であればステンレス製かアルミ合金製を、軽い扉に使用する場合には軽い素材のアルミ合金製やプラスチック製の取手を、高級で味わい深い取手を使いたい場合は真鍮製の取手を、というように多様な用途・目的に応じられるように多くの材料が選ばれています。

様々な形状で製造しやすい  
**亜鉛合金**



鍛に強い  
**アルミ製品**



鍛や薬品に強い  
**ステンレス製品**



高級で味わい深い  
**真鍮製品**



Q4

メッキ製品を取り扱う際の注意点を教えてください。

A4

メッキ製品の多くは、メッキ保護のためその上にクリアー塗料が塗布されています。クリアーに傷がつきますと、そこから鍛や腐蝕が始まることがあります。取手を握る際は、指輪などの硬い突起物で擦って傷つけないよう、また扉を開けた時に壁などに強くぶつけないように注意してください。

お手入れには、金属タワシや研磨材入りの粗い洗剤など傷の原因となるものや、シンナーなど表面の光沢を劣化させるものはご使用にならないでください。

